



# 自然災害&新型コロナの「複合災害」対策 5つの避難方法 ※水害時の例



最善の避難方法を選択するためにも、ハザードマップや防災マップなどを活用し、事前に危険箇所や避難経路の確認、災害時の行動をイメージしておきましょう。

- ①在宅避難**  
安全が十分確保できる場合に限り、自宅にとどまる避難方法。
- ②縁故避難**  
安全が十分確保できる場所にある親戚や友人宅などへの避難。
- ③車中避難**  
安全な場所に車で移動し、一時的に過ごす避難方法。
- ④避難場所へ避難**  
各地区で指定されている避難場所に避難。
- ⑤水平避難と垂直避難**  
災害が身近に迫ったときは、少しでも危険を回避する必要があります。近くの安全な場所を目指す「水平避難」や建物の上の階へ移動する「垂直避難」などの行動を使い分けましょう。



# いざという時のために！ 「非常用持ち出し物品」&「備蓄」

有事の際、すぐに避難できるように各家庭に必要な物を準備しましょう。  
※下記は参考例として活用ください

- |  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <b>救急医療品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>常備薬</li> <li>傷・風邪・胃腸薬</li> <li>絆創膏</li> <li>包帯</li> <li>鎮痛剤</li> </ul>                                   | <b>電気機器</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話</li> <li>携帯の充電器</li> <li>ラジオ</li> <li>懐中電灯</li> <li>電池(多めに用意)</li> </ul>                                  | <b>貴重品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現金</li> <li>預金通帳</li> <li>印鑑</li> <li>免許証</li> <li>健康保険証</li> </ul>  | <b>コロナ対策物品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスク</li> <li>手指消毒用アルコール</li> <li>せっけんやハンドソープ</li> <li>体温計</li> <li>必要に応じて敷布団など</li> </ul> |
| <b>非常食・物品</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>カンパン</li> <li>市販の非常食品</li> <li>缶詰</li> <li>飲料水</li> <li>缶切り、栓抜き</li> <li>紙皿、紙コップ</li> <li>水筒</li> </ul> | <b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>衣類(下着・上着)</li> <li>タオル</li> <li>生理用品</li> <li>小児に必要なもの</li> <li>ウエットティッシュ</li> <li>雨具</li> <li>ヘルメット</li> </ul> | <b>3日分の備蓄を</b><br>すぐに支援が届かないことも想定し、最低3日間生活できる備蓄をしておきましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>水や食料(人数分)<br/>※卓上コンロやガスボンベも推奨</li> <li>生活に欠かせない物<br/>※無いと困る物を確認しましょう</li> </ul> |   |



# NEW 千年に一度級の大雨想定 ハザードマップ

## 特徴

- 千年に一度級の大雨を想定し、土砂災害・浸水の危険区域・過去の浸水範囲(平成28年台風10号)・各地区の避難場所などを地区ごとに示している
- 「ため池ハザードマップ」を新規作成
  - ※1 小友町は浸水区域に変更がなく、ため池もないため更新していません。
  - ※2 附馬牛町は、該当するため池がないため、ため池マップ未作成。

## 問い合わせ

- 市消防総務課(☎62-2119内線205)
- 市建設課(☎62-2111内線518)

危険箇所や避難場所などを示した地図「遠野市土砂・浸水ハザードマップ(※1)」を更新しました。裏面には新たに作成したため池ハザードマップ(※2)を掲載。本紙と同時配布する2つのハザードマップを確認して、水害から命を守りましょう。

**市** は平成29年に全戸配布した「土砂・浸水ハザードマップ」を更新しました。ハザードマップの裏面には「ため池ハザードマップ」を掲載し、今月号と同時配布しています。

土砂・浸水ハザードマップは、千年に一度級の大雨を想定。猿ヶ石川・早瀬川流域の浸水想定区域が広がりました。急傾斜地危険エリアと土石流危険エリアも変更。想定区域の変更に伴い、土砂災害・浸水時の「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を見直しました。避難場所は各町自主防災組織代表者と一緒に、地域の実情を考慮して設定しています。

ため池ハザードマップは、万が一、農業用ため池が決壊した場合に市民のみなさんの避難行動に役立ててもらうため作成しています。全国的にも、局地的な大雨や巨大地震などの影響でため池が決壊し、流出した貯水による被害が発生しています。配布するハザードマップでは、市内の一定規模以上のため池が決壊した場合の浸水想定区域を示しています。

両ハザードマップを確認し、地域の防災活動やいざというときの備えに活用しましょう。

**活用例**  
ハザードマップ  
今月号と同時配布!

**行動その1**  
まずは、確認!  
ハザードマップに「どのような情報が掲載されているのか」家族と一緒に確認しましょう。

**行動その2**  
行動をイメージ  
危険箇所と避難場所を確認し、避難経路と避難方法をあらかじめ想定しておきましょう。

**行動その3**  
緊急連絡先を記入  
災害時は携帯電話が使えない場合も...マップの防災メモ欄を活用して緊急連絡先を記入しましょう。

**行動その4**  
目立つ場所に  
マップと防災マップを一緒にして保管するか、家族がよく目にする場所に貼るなど活用しましょう。